



小川会長

役員改選が行われ会長に

だ。今後は水道事業体の  
要望を取り入れながら、  
次のソフト開発へ対応し  
ていきたい」と話してい  
る。

基準に関する省令」など  
で見直しとなる事項につ  
いても反映させる。

このほか、今年度は▽  
給水財団が、東日本大震  
災での給水管被害の詳細  
をまとめデータベース化  
するにあたり、給水装置  
の管種や用具別の被害分  
析を委託する▽東京水道  
サービスの「省エネ型給  
水方式に関する研究」に  
関する実証実験、検証を  
行い、報告書にまとめる  
▽水道用ポリエチレン二  
層管の接合に用いる金属  
継手（JWWA B11  
6）の耐震性能について  
協会規格をまとめ、JWW  
WA規格化も目指す▽協  
会の名称と略称の商標登  
録、協会ホームページの  
開設について検討する一  
として

ける設計・施工管理ガイ  
ドラインが発刊されるの  
で確実な執行に貢献して  
いきたい。また、公益社  
団法人化への取り組みを  
本格化させたい」とあい  
さつ。

回定時総会が6月8日、  
福岡市のANAクラウン  
プラザホテル福岡で開催  
され29年度事業計画など  
を決定するとともに、特  
別会員であるタキロンエ  
ンジニアリングが開発し

に協会の取り扱い工法と  
することを決定した。任  
期満了に伴う役員改選で  
は浅野昌行会長以下、主  
要役員を再任した。  
冒頭、浅野会長が「こ  
当地福岡市で発生した陥



浅野会長

た、教育事業として、ロ  
ボット清掃技術講習会や  
ロボット清掃技工検定試  
験を実施するなどとして、  
施工品質のさらなる向上  
を図っていく。  
また、同協会の特別会  
員となっている長岡教授

い3工法の品質の確保と  
向上に努め、工法の信頼  
性を高めていきたい」な  
どあいさつ。  
議案の審議では、20  
16年度事業報告、同決  
算、2017年度事業計  
画案、同予算案、ストリ  
ング工法を取り扱い工法  
とする件、役員改選など  
の議案を審議承認した。  
このうち2017年度  
事業計画では「工法の普  
及活動」として▽自治体  
等へのPR活動▽デモ施  
工・工法説明会の開催・

整備など。②施工技術の  
改良のうち、FFTS  
工法では▽硬化不良やし  
わ対策▽既設管種適用範  
囲拡大の検討など。ス  
トリング工法では▽日進  
量の向上・品質確保のた  
り

### 水中ロボット認定制度の創設へ

日本水中ロボット  
調査清掃協会総会 12月頃に技術指針改訂

日本水中ロボット調査  
清掃協会（会長＝原純貴  
・エコ・プラン代表取締役  
役）は6月8日、大分県  
日田市の亀山亭ホテルで  
第2回定時会員総会を開  
いた。29年度事業計画・予  
算を報告したほか、役員  
改選を行い、原会長を再  
任した。

冒頭、原会長は「一般  
社団法人となつてから今  
年度で3年目に入るが、  
昨年は当協会にとつて大  
きな節目となった。本協  
会の不断水清掃工法が日  
水協の維持管理指針に書  
き込まれ、公的に認めら  
れた」と成果を強調。つづ  
けて「水中ロボットと機  
材の安全性を担保し、水  
道事業体に安心して活用  
いただけるように水中調  
査清掃ロボット認定制度  
をつくっていく。長岡裕  
・東京都市大学教授を委

つづいて、来賓の江藤  
隆英・日田市上下水道局  
長が同市水道事業管理者  
の原田啓介・同市市長の  
あいさつを代読。「水道  
法改正が進められている  
が、貴協会の取り組みで  
事業運営に貢献してほし  
い」と述べた。  
29年度事業では、日本  
水道工業団体連合会主催  
の水道展に初出席して水  
中ロボットによる不断水  
工法をPRしていく。ま

た、教育事業として、ロ  
ボット清掃技術講習会や  
ロボット清掃技工検定試  
験を実施するなどとして、  
施工品質のさらなる向上  
を図っていく。  
また、同協会の特別会  
員となっている長岡教授

り、累計施工延長は1100  
キロに達する見込み。  
これからもユーザーの信  
頼にこたえられるように、  
会員各社の現場のニーズ  
を受け止め、メーカーと  
一体となりさらなる改善  
に取り組みたい。道路陥  
没が多発しており対策が  
急務となっている。更生  
工法は品質、施工性やコ  
ストで選ばれており、ユ  
ーザーの要求にこたえてい  
かなければいけない。人  
材育成、材料開発など課  
題は多いが会員と協力し  
て運営にあたっていく

念懇話会の参加者を募集  
している。今回の話題提  
供者は、茂庭竹生氏。東海  
大学名誉教授で、テーマ  
は「酒を3倍」の意義  
は。懇話会は、水道界の  
著名人による講演を行  
い、見識を深めたり、懇  
談したりできる場を提供  
するのが目的で、2カ月  
に1回開催している。

### 累計施工延長が1100キロに

オールライ  
ナー協会総会 資格取得のフオローも

オールライナー協会  
（会長＝小林友則・環境開  
発公社社長）は6月8日、  
第23回定時総会を大津市  
のびわ湖大津プリンスホ  
テルで開き、平成28年度  
事業報告、29年度計画な  
どを審議し了承した。  
小林会長は「28年度の  
年間施工距離は75キロと

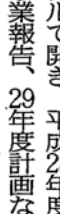
り、累計施工延長は1100  
キロに達する見込み。  
これからもユーザーの信  
頼にこたえられるように、  
会員各社の現場のニーズ  
を受け止め、メーカーと  
一体となりさらなる改善  
に取り組みたい。道路陥  
没が多発しており対策が  
急務となっている。更生  
工法は品質、施工性やコ  
ストで選ばれており、ユ  
ーザーの要求にこたえてい  
かなければいけない。人  
材育成、材料開発など課  
題は多いが会員と協力し  
て運営にあたっていく

技術者の配置が盛り込ま  
れ、工事現場での一層の  
施工管理の品質が要求さ  
れることになる。これを  
踏まえ協会として研修会  
制度の充実と資格取得の  
フオローを進めていく予  
定。具体的には施工技術  
勉強会の開催を計画して  
おり、現場の技術者への  
スキルアップに貢献して  
いく。

28年度事業は技術委員  
会を5回開催した。施工  
技術研修会は6回開催し  
て172人、統括監理者  
研修会は4回開催して1  
57人、穿孔研修会試験  
は4回開催して84人が参  
加した。

【日時】  
7月28日12時～14時

【場所】  
「アルテリー」へ東京  
東京都港区新橋2-12-  
5池谷ビルB1階



小林会長

28年度事業は技術委員  
会を5回開催した。施工  
技術研修会は6回開催し  
て172人、統括監理者  
研修会は4回開催して1  
57人、穿孔研修会試験  
は4回開催して84人が参  
加した。

【日時】  
7月28日12時～14時

【場所】  
「アルテリー」へ東京  
東京都港区新橋2-12-  
5池谷ビルB1階

【会費】  
1000円

【会場】  
1000円

【会場】  
1000円

【会場】  
1000円

【会場】  
1000円

【会場】  
1000円

【会場】  
1000円

【会場】  
1000円

【会場】  
1000円